

# 府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会  
第2号  
2019年7月30日発行

第1回研究部会にご参加いただき、ありがとうございます。



こんにちは。府立人研事務局です。

「府立人研通信」第2号では、5月31日に開催しました、

第1回研究部会のご報告をさせていただきます。

今回も多くの教職員の方々にお越しいただき、本当にありがとうございます。

暑さが身体にこたえます。どうかご自愛ください。

## 第1回研究部会のご報告

### 教材部会

#### 出会いとつながりを作る 学びのデザイン

～AL型授業やクラス開きHRで  
取り組む「いじめ防止プログラム」～

報告

大阪府教育センター附属高等学校

今回は、「出会いとつながりを作る学びのデザイン」と題して、大阪府教育センター附属高校より、アクティブラーニング型でコミュニケーションの活性化をもたらす取り組みの発表があった。いじめの未然防止の意味もあり、学校全体で取り組んだ実践報告であった。

また、参加者で「何でもバスケット」「ネームトス」「あだ名ネームトス」を体験することで、実際の取り組みの雰囲気をつかむことができた。報告者からこのような取り組みを始めることになったきっかけもお話しいただいた。報告者が生徒との関係づくりがうまくいかず悩んでいた時に当時の勤務校である府立茨田高校のピアメディエーション教育に出会い、取り組む中で、次第に生徒が変わっていくことを実感したという。集団作りや自己肯定感の育成に効果

があることから、今に至るまで取り組んでいるとのことであった。質疑も盛んに行われ、最後に「大切なことは、方法やスキルではなく魂」とおっしゃられたのが印象的であった。

その後、人権教材の交流があった。非常に多くの学校から教材が集まり、1校1分間で紹介していただいた。大変盛りだくさんの内容の交流であった。



### ケーススタディ部会 性的マイノリティへの支援

～多様な性を考える～

報告

府立柴島高等学校

第1部では、府立柴島高校より、多様な性のあり方の基礎知識を踏まえた上で、学校現場でできる配

慮や実践の報告があった。学校で我々教職員が名簿や席順を男女で分けていたり、日常的に「男子～、運ぶの手伝って」と何気なく「性差」をつけていないか、誰もが異性愛者であることが当然であるのかのように話をしていないか等、今すぐにでも点検できることを紹介していただいた。また、生徒の実態として、思春期という時期は自身の性に気づき、悩み、苦しむ者が多いということ、そういった生徒と向き合うために、「肯定的な話題を提供する」「支援や啓発のための環境整備をする」「あなたは間違っていないというメッセージを伝える」という関わり方のヒントを教えていただいた。

第2部では、セクシュアリティに関わらず「誰もが過ごしやすい学校とは？」についてグループ討論を行った。学校を生徒たちがありのままを出せる場にするためにどういったことができるのかについて交流することができた。



## 進路保障部会

### 進路保障のあり方

～就職、労働現場に見る今日的課題～

#### 報告

- ・大阪市地域就労支援センター  
所長 牧野 久美代さん
- ・A' ワーク創造館(大阪就労支援センター)  
館長 高見 一夫さん
- ・府立野崎高等学校

まず、大阪市地域就労支援センターより、日本経済の変遷と併せて、事業の目的とその対象者についてのお話があり、支援の内容、事例をご紹介いただいた。社会構造の変化、環境の変化、いずれのスピードも速く、そのどれもが今後の課題となりうる状況であるとのことであった。

次に、A' ワーク創造館(大阪就労支援センター)より、「高校生の進路保障を考える」というテーマでお話いただいた。産業別就業者構成割合の推移や雇用慣行の変化、非正規雇用の増加、若年層労働者の現状、高卒・大卒の求人倍率の推移について説明があった。その後、学校教育の現状、今、なぜ「キャリア教育」「就労支援」が問われるのか、企業の求める「即戦力」と職業経験のない高校生とのギャップについての話があり、3年間を通したキャリア教育と就労支援(マッチング)がいかに大切であるかという観点から、高校キャリア教育・就労支援の試案も提示いただき、ある府立高校のCC(キャリアカウンセラー)の活動事例もご紹介いただいた。

府立野崎高校からは、3年次の人権学習HRの紹介があった。野崎高校で代々受け継がれている教材を生徒の実情に合わせて、毎年ブラッシュアップして使用しているとのことであった。公正採用選考について、かつて使われていた社用紙と統一応募用紙との比較、違反質問についてや、模擬面接のシナリオなど、貴重な教材・資料の提供があった。

質疑応答では、それぞれの報告について多くの質問が寄せられ、参加者の関心の高さがうかがえた。

生徒一人ひとりの就労と職業選択をめぐる支援の意義、今日的課題も含め、ますます高まる支援のニーズについて考えるよい機会となった。



## 府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号  
府立柴島高等学校内

※通送便には「府立人研」とお書きください。

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通)

※お問い合わせはできる限りEメールをご利用ください。

※お電話の場合は、火曜日をお願いします。

E-mail [furitsujinken@nifty.com](mailto:furitsujinken@nifty.com)

ホームページ <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>